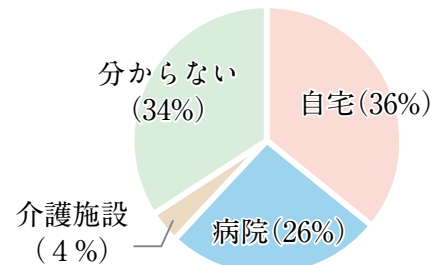


地域での自立した生活に寄り添う基盤の整備

市民へのアンケートで「最期を迎える場所の希望」を尋ねたところ、「自宅」を希望する人の割合が「病院」を上回っており、市民の約3人に1人が自宅で最期を迎えたいと考えていることが分かりました。こうした市民の希望を叶えるために、高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるまちづくりの取り組みを進めています。

最期を迎える場所の希望は？



※市民 1680 人からの回答(2017 年)

ACP(人生会議)の普及・啓発

エーシーピー
ACP(人生会議)はアドバンス・ケア・プランニングの略で、もしものときに備えて自分自身が望む医療やケアについて前もって考え、家族や医療・ケアチームなどの信頼できる人と繰り返し話し合い、思いを共有する取り組みのことです。

市では、ACPに関する正しい理解や支援者としての関わり方について、市内の医療・介護専門職を対象とした研修会の開催や、ACPを実践するときのポイントをまとめた話し合いガイドを作成するなど、市内医療機関や市ウェブサイトなどで普及・啓発の取り組みを行っています。



成羽町で開催したACPの実践講座



研修会には職種の垣根を越えて多くの専門職が集まる

医療・介護で働く多職種が企画する研修会

市内医療機関や介護施設で働く多様な専門職員が中心となって、各々が日々感じている疑問や課題をテーマに研修会を企画・開催しています。

研修会を通して、それぞれの専門職が普段どのような視点を持って日々のサービスに携わっているかなどを相互に理解する機会となり、職員間の連携強化や一人一人の資質向上につながっています。